

要 望 書

平成 23 年 7 月 25 日

中野区長 田中大輔 殿

中野区議会公明党議員団

幹事長 やながわ 妙子

久保 りか

小林 秀明

南 かつひこ

平山 英明

白井 秀史

小 林 ぜんいち

甲田 ゆり子

木村 広一

熱中症対策の強化を求める要望

原発事故に伴う電力不足が懸念されるなか、本格的な夏を迎えます。節電を意識するあまり、高齢者や子どもたちの熱中症が心配されており、総務省消防庁の報告によると、熱中症による搬送者数はすでに昨年を大幅に上回っています。区は緊急の熱中症対策を講じていますが、区民には十分周知されていない状況があります。区民の健康を守るため、更なる対策を講じて、猛暑に備えるべきと考えます。以下、具体的な取り組みを要望します。

1. 中野区が実施する熱中症対策について、あらゆる広報手段を通じて区民に十分な周知を行うこと。
2. 高齢者会館等を活用したクールスポットにおいては、区民が気軽に利用できるよう配慮するとともに、水分補給のためスポーツドリンクや冷たいお茶などを用意するなどきめ細かな対策を講じること。
3. 熱中症に効果のあるグッズなどを区内の高齢者に積極的に配布すること
4. 「電気予報」を区民に提供して、高齢者や子どもが無理な節電を意識して体調を崩すことのないよう努めること。
5. 気温35度を超えた場合、区民に対し防災無線、ホームページ、広報車、防災メール等による、積極的な啓発活動を実施すること。